

# 20人の議員が 市の考えを問う

第3回定例会の一般質問が6月13・16・17・18日の4日間にわたって行われ、20人が質問しました。質問と答弁を要約した内容を通告順に掲載します。

にしむら けい 西村 慧	1 健康経営の普及啓発について 2 地域の児童数に応じた放課後児童クラブの施設整備について 3 合併特例事業債発行期限後の施設等整備について
たなか よしかつ 田中 喜克	1 地域で創る「夢の学習」の活動状況や今後の展開について 2 水口市街地の歴史的整備事業、松並木整備事業等々の施設の現状と管理状況、今後の市街地活性化は 3 大きく動き出した市の玄関口である貴生川駅での周辺整備事業 その概要と今後の動きは 4 合併から20年の節目を越え、住居表示・字の区域変更で甲賀市の都市的イメージアップを
きむら まさお 木村 眞雄	1 土砂災害特別警戒区域における防災・減災対策について 2 甲賀町の歴史観光ルートの整備について 3 物価高対策について
いとめ まさき 糸目 仁樹	1 地域情報基盤の民間移行及びあいコムこうかについて 2 コミュニティセンター指定管理について 3 有害鳥獣解体所設置を
ほり いくこ 堀 郁子	1 誰もが投票しやすい環境づくり 2 主権者教育 3 子どもを性被害から守る取り組み 4 学びの多様化学校 5 介護への支援
にしやま みのも 西山 実	1 大阪・関西万博への教育旅行について その3 2 有機フッ素化合物の検査について その3 3 酪農の危機への対策強化について 4 外国籍住人との生活コミュニケーションの促進について
なかじま ゆうすけ 中島 裕介	1 誰にでもやさしい行政周知について 2 鹿深夢の森遊具設置事業について(検証)
ふくい すずむ 福井 進	1 甲南第二小学校区等における放課後児童クラブの整備について 2 放課後等デイサービス施設の現状について 3 米不足等の中での、食料(給食等)の安定的な供給について 4 小中学校の修学旅行への支援について
やまおか みつひろ 山岡 光広	1 身寄りのない人への支援策 第2弾 2 「住宅確保要配慮者」と居住支援について 3 リチウムイオン電池の回収を市町村がすることについて 4 甲南第二小学校にも独立した学童保育所の設置を 5 ミソジニー 三重県議に対する殺害予告メールについて
おかだ しげみ 岡田 重美	1 物価高騰から市民の暮らしを守る対策を 2 全世帯に「防災リュック」(非常用持ち出し袋)の配布を 3 投票区域再編計画(案)について 4 コミパス・コミタクをもっと使いやすく 5 南土山地先における安定型産業廃棄物最終処分場建設計画について
にしだ まこと 西田 忠	1 シティプロモーションとシビックプライドの醸成について 松浦市の事例に学ぶ 2 甲賀産米の地元消費拡大について
おぐら つよし 小倉 剛	1 戦没者を慰霊する忠魂碑等の維持管理について 2 市発注工事の工事看板に金額掲示を
でぐち まさゆき 出口 雅之	1 大災害に対する防災・減災と事前準備について
おくむら のりお 奥村 則夫	1 オーガニックビレッジ宣言について 2 消防団の支援団員について 3 過疎化が進む地域への対応について
むらき けいたろう 村木 慶太郎	1 市内介護福祉事業に従事する民間事業者の現状について 2 忍者を核とした観光拠点施設整備基本計画の進捗について 3 図書館の今後の在り方について
えびすわき ひろし 戎脇 浩	1 甲賀市公民連携元年としての位置づけを 2 公民連携手法である長野地域エリアリノベーション事業を推進すべき
たなか あらと 田中 新人	1 持続可能な農業への取り組みについて 2 2025年問題に係る本市の現状と対策について 3 甲賀市の下水道管の老朽化対策等について
たになが けんじ 谷永 兼二	1 PTA、教育後援会等の現状と課題から見る教育予算について
はしもと りつこ 橋本 律子	1 地域移動支援活動の推進について 2 情報の共有さらなる充実を
はしもと ひさのり 橋本 恒典	1 甲賀市の水道について 2 甲賀市の公共交通について 3 高校生の通学路について

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

QRコードで質問の録画が見られます。



公明党

木村 眞雄



### 土砂災害特別警戒区域の防災・減災対策

質問

①特別警戒区域729カ所についての認識は。②住居が当区域に隣接している箇所はどれほどあるか。③特別警戒区域に指定されて6年が経過、この間、どのような対策が取られたか。④定期的な現地の状況確認が必要と考えるが、実施状況はどうか。⑤今後の方向性や対策について

回答

①他市町に比べて指定が多い状況である。②レッドゾーン729カ所の内、631カ所である。③崖地の崩壊防止工事4件、崩壊防止施設への補助金交付2件、砂防堰堤2基完成。また、防災マップを作成し、全戸に配布。「逃げ遅れゼロ作戦」で土砂災害を想定した避難訓練の実施や避難確保計画の策定に取り組んでいる。④県と連携し、危険個所のパトロールを年1回実施している。また、過去に災害があった箇所や地域の要望があった箇所は、適宜パトロールを行い、確認、把握をしている。⑤防災マップを活用した出前講座や防災訓練を通じて、災害リスクや警戒レベル、避難情報をしっかりと住民に伝える。また、住民と連携し、自助・共助の取組を推進する。



無所属

糸目 仁樹



### あいコムこうか株式売却はなぜか

質問

市はあいコムこうかの筆頭株主で、株式を民間通信事業者に売却予定。情報基盤施設のあいコムこうかへの譲渡で、市の財政的負担は消え、財政負担は理由にならない。地域情報基盤あり方審議会の答申にもない。なぜそこまで踏み込むか。責任放棄ではないか。また1カ月で社長が2回交代した。なぜか。

回答

筆頭株主交代で、安定した経営ノウハウが得られる。社長交代は内部情報で控えるが、前副市長による社長就任は元社長辞任による機能停滞回避のため。

### コミセン指定管理のあり方

質問

コミュニティセンターの自治振興会による指定管理は手上げ方式。住民との合意は必要ないか。

回答

自治振興会、まちづくり協議会の総会等での決定事項で住民の合意があると判断している。

### 有害鳥獣の解体所設置を

質問

有害鳥獣の捕獲者にとって、解体や埋設は負担が大きすぎる。解体所を設置し、捕獲後の買い取り等で捕獲者の負担軽減と有効利用はできないか。

回答

地域狩猟者団体の意向を確認しながら検討する。



凜風会

西村 慧



### 健康経営の普及啓発について

質問

市としての健康経営についての認識は。

回答

健康保持等の戦略的な取組は、重要な投資であり、労働力不足が深刻化する中で必要であると認識している。

### 児童数に応じた放課後児童クラブの施設整備について

質問

①利用児童の増加が見込まれる地域は。②甲南第二学区内での早期の施設整備を。

回答

①水口、綾野地域及び甲南町寺庄区、野田区と認識している。②地元協議と施設整備を行った上で、小学校の最寄り公民館で令和9年度に開設を目指す。

### 合併特例事業債発行期限後の施設等整備について

質問

①発行見込額477億2,240万円の振り返りは。②今後の施設整備と財源確保の考えは。

回答

①旧町域間で整備状況等に差異が生じていたが、教育・保育施設等のハード面における環境改善を図ることができた。②水口スポーツの森屋内遊戯施設等があり、従来同様のペースでの整備は困難だが、企業版ふるさと納税の推進等に取り組む必要がある。



自由民主党 誠翔会

田中 喜克



### 令和7年1月に示された「貴生川駅南口交流拠点基本計画」の概要は

質問

令和7年1月に示された「貴生川駅南口交流拠点基本計画」の概要は。

回答

整備する事業は、①貴生川駅北口ロータリー改修事業 ②駅構内自由通路改修事業 ③南口駐車場の立体化事業 ④南口まちなか広場整備事業 ⑤南口交流拠点整備施設整備 ⑥杣川歩行者専用橋整備事業 ⑦杣川河川敷公園整備事業の7事業を予定し、スケジュールは、今年度から始め令和11年度完成を目標とする。

### 「歴史街道・松並木整備事業」等々で整備された施設の現状と今後は

質問

市街地の歴史街道の各施設や沿道景観形成事業の各施設の現状と今後の管理・活性化策は。

回答

泉地先の常夜灯をはじめ、歴史街道等の施設は多くが整備から30年以上が経過しており、老朽化が進んでいる状況。地域の方々の奉仕作業に加え、市でのパトロールやシルバー人材センター委託等で管理保全を行っている。今後の活性化・活用は、計画の、東海道「くらし・にぎわい」再生事業の実施計画に位置付けて、管理保全・再整備、活用等、活性化に向けて事業を進める。



自由民主党誠翔会  
なかじま ゆうすけ  
**中島 裕介**



### 鹿深夢の森遊具設置事業について

**質問** 令和6年度鹿深夢の森遊具設置事業について、市長はどのような思いで事業化を考えたのか伺う。

**回答** 鹿深夢の森の屋外遊具は、本市が若者・子育て世代に選ばれるまちをめざすための重要な子育て支援施設の拠点であり、更新を望む声があったことから、幼児を対象とした遊具を設置し、安全に子どもと過ごせる遊びの場を提供できるよう当初予算に計上したが、工事入札が不調となり、不執行になったが、屋外遊具の整備について、実現をめざす思いは変わらず、改めて予算計上を検討する。

### 誰にでもやさしい行政周知について

**質問** 市民に伝わる「やさしい言葉」による情報の伝え方の今後の展望はどうかを伺う。

**回答** 市では全職員向けに「文書事務について」というマニュアルを作成し、従前から周知・運用しており、文体は誰にもわかりやすく、親しみやすく、読みやすい文章とするよう例文を交えながら適正文書作成事務を行っている。今後も市民に対し一方的に「伝える」のではなく、確実に「伝わる」ことを強く意識し、わかりやすく正確な情報提供に努める。



無所属  
ふくい すずむ  
**福井 進**



### はたらく保護者への子育て応援を

**質問** ①甲南第二小学校の近くに児童クラブを早急に整備すること。②雲井・佐山・大野小学校の児童クラブと学校再編計画の関係について。③児童クラブに加配を配置して、障がいのある児童の受け入れを進めること。④甲賀・土山地域に放課後等デイサービス施設の整備を進めること。

**回答** ①地元施設の活用等で、早期の整備に向けて取り組む。②中期的な視点で、施設の複合化や新たな施設整備の検討を進める。③受入れが一人でも多くできるように努める。④連携を強化し民設整備に対する支援に努める。

### 給食・修学旅行への子育て応援を

**質問** ①給食等の「量・質」の確保と給食費を維持すること。(①小中学校②私立こども園) ②県内では多くの学校が行先等の変更をしている。今こそ、修学旅行に対して補助を再開すること。(以前は、全小学生2,500円、中学生5,000円の補助を実施)

**回答** ①①質・量の確保と共に、補正も視野に費用は維持する。②現状を把握し公立と同様の対応に努める。②教育委員会を通して、学校とも十分に協議して対応を検討する。



公明党  
ほりけ いくこ  
**堀 郁子**



### 誰もが投票しやすい環境作りと主権者教育、子どもや介護への支援

**質問** 投票しやすい環境作りはいかがか。大型商業施設の期日前投票はいいが、投票日にできないのは何が問題か。主権者教育の模擬授業の準備やメリットは。投票の推進や主権者教育を若者と共に進めてはどうか。

**回答** バリアフリー、拡大鏡、点字器、代理投票のサポート、投票支援カード、コミュニケーションボード等実施。今後、移動期日前投票所、大型商業施設の期日前投票、投票日の共通投票所等を行う。投票日に大型商業施設で投票するには共通投票所であれば出来る。検討する。主権者教育は実際の投票用紙、記載台、投票箱を用いて模擬投票をしている。メリットは社会での自立、主体的な課題解決等がある。若者と共にできるよう市内高校での期日前投票所の開設等から始める。

**質問** 子どもを性被害から守るために「コドマモ」アプリを入れては。甲賀市の学びの多様化学校の状況は。介護のケアマネージャーの負担軽減を市で支援しては。

**回答** 学習用端末にはフィルタリングしている。教育支援センターを拡充・増設し、学びの多様化学校は研究する。ケアマネの負担軽減は対応を検討する。



日本共産党  
にしやま みのる  
**西山 実**



### 大阪・関西万博への教育旅行について

**質問** 大阪・関西万博の会場は、風水害リスクが高く、災害時に孤立する可能性が高い。6月以降5校が教育旅行を計画されているが、熱中症対策、台風時期の風雨対策、救護体制についての対策が必要ではないか。

**回答** 熱中症対策として、暑さ指数の予報等情報把握を行い、必要に応じて活動時間の短縮や活動内容の変更など臨機応変に対応して、子どもたちがまず安全に活動できるように努める。台風等の発生、影響が予測される場合は、前日までの情報を注視し、実施の判断をする。

### 外国籍住人との生活コミュニケーションの促進について

**質問** 甲賀市の外国人は4,741人と大津市・東近江市に次いで県内3番目に多い。①地域住民から市への相談や対応の実態は。②外国人の転入者に対する外国語のコミュニケーションツールが必要ではないか。

**回答** ①「甲賀市多文化共生センター」における昨年度の相談件数は173件。②ごみの出し方や、けが、病気の対応方法、交通ルール、災害時の対応等を多言語により説明する「(仮称)生活ガイドブック」を現在作成しており、市民課窓口における転入手続き時に配布する。



凛風会  
にしだ まこと  
**西田 忠**



## シティプロモーションとシビックプライドの醸成について ～松浦市の事例に学ぶ～

質問

会派視察で訪れた長崎県松浦市では「アジフライの聖地」を宣言し、全国的に知名度を上げる大成功を収めていた。シティプロモーション事業は「あれもこれも」から「あれかこれか」への転換が求められる。選択と集中の観点から、甲賀市と聞いて最も強く連想される“忍者”を軸にプロモーション事業を行うべきでは。

回答

本市は多様な資源に恵まれており、それぞれの独自性を最大限に活用・追求する戦略的プロモーションが有効であり、資源を一つに定めることは考えていない。

## 甲賀産米の地元消費拡大について

質問

米の価格高騰が続く中、市内でもコメ増産の動きが高まっている。昨今各地の自治体では“米クーポン”を配布するなど地元米を普及させる様々な企画を打っている。この機会をチャンスとしてとらえ、甲賀の安全で美味しい米を甲賀で消費する流れを自治体が後押しすべきでは。

回答

学校給食において地産地消の推進を図っている。直売所、道の駅等における地元産米のPRの実施など、関係機関と連携しながら更なる取組を検討する。



自由民主党誠翔会  
おぐら つよし  
**小倉 剛**



## 戦没者を慰霊する忠魂碑等の維持管理

質問

戦没者遺族会の会員の高齢化に伴って会員数が減少し、維持管理が困難になってきている。戦後80年が経過し戦争の記憶が薄れていく中、悲惨な戦争の惨禍や、戦陣に散り、戦禍に倒れた人々の思いを次世代に引き継いでいくためには、将来にわたり、これらの慰霊碑の適切な維持管理にもっと行政関与を。

回答

慰霊碑の管理状況の把握に努めるとともに、市としてどのような支援が適切であるのか、市遺族会の皆さま方のご意向を丁寧に確認させていただき検討を進める必要があると考える。

## 市発注工事の工事看板に金額揭示を

質問

市発注工事の工事看板に金額揭示を。

回答

公共工事における工事看板の揭示は、工事の安全性と効率性を確保するために不可欠な手段であり、適切な看板の揭示は、工事現場のイメージアップにもつながり、また、請負金額の揭示は、市税の活用状況など公共工事に関心を持っていただけるためにも、有効な取組になるものと考え「工事現場における標示施設等の設置基準」に基づき、庁内協議を経て、工事看板への金額揭示ができるよう前向きに取り組む。



日本共産党甲賀市議員団  
やまおか みつひろ  
**山岡 光広**



## 身寄りのない人への支援策

質問

警察庁が「2024年に自宅で死亡した一人暮らし人の約77%が65歳以上高齢者であった」と発表した。対策として、生前中に如何にして地域とのつながりをもつのが問われている。そのため老人クラブと連携してエンディングノートは無償配布する等の取組をしてはどうか。

回答

現在市内13カ所にエンディングノートを置いている。昨年度は413部普及した。議員提案にあった方法も有効な策であると認識している。

## 甲南第二小に独立した学童を

質問

甲南第二小学校の児童42名が3km離れた学童保育所に通所している。校区内に独立した学童保育所が必要。

回答

地元の公民館での借用について相談中。令和9年度から開設。

## Xの投稿に誹謗中傷殺害予告メール

質問

「市役所トイレに生理用ナプキンを置いてほしい」とXに投稿した三重県県議に誹謗中傷・殺人予告メールが8,000件も。重大な犯罪行為である。

回答

いかなる理由であっても断じて許されるべきものではない。



日本共産党甲賀市議員団  
おかだ しげみ  
**岡田 重美**



## 物価高騰から市民の暮らしを守る対策を

質問

日本共産党甲賀市委員会が行ったアンケートでは「暮らしが苦しい」との回答が8割以上寄せられた。①消費税5%減税を国に求めるべき。②低所得者、中小事業者、医療・福祉施設等に、市独自の支援策を。

回答

①国において適切に対応すべき。②国の動向を注視し、必要な対策の検討に努める。

## 投票区域再編計画案(95を49に削減)について

質問

①5月のパブコメではどのような意見があったか。②党のアンケートでも4割が現状維持を望んでいる。再度検討すべき。

回答

①27件寄せられ、「投票所が遠くなると投票に行けない」「投票率低下は明らか」との意見が多かった。②再編を予定通り進めたい。

## 南土山地先産廃処分場建設計画について

質問

県外からのゴミが8割以上持ち込まれる計画であり住民の不安は大きい。県外からの持ち込みに対し規制する条例化の検討を。

回答

条例化は現時点では困難な状況だが、引き続き市民の声を事業者へ届け、県にも徹底した審査を求めていく。



無所属  
むらき けいたろう  
**村木 慶太郎**



## 市内介護福祉事業に従事する民間事業者の現状は

質問

①人材確保に向けた市の対策と成果について②公共資産の利活用について③訪問介護事業における駐車場問題への対応は

回答

①市独自研修や高校生への啓発を通じて介護人材の確保に取り組んでおり、成果があがってきている。②公共施設等管理計画との整合を図りながら、有効活用が可能となるような仕組みづくりを検討していく。③駐車場確保に苦勞されていることは承知している。まずは警察署の駐車許可制度を活用いただきたい。

## 忍者を核とした観光拠点施設整備基本計画の進捗

質問

平成31年3月に策定された計画について一次整備完了後、現状の進捗、今後の見通しは。

回答

整備区域等の見直しを進めている。今後、市内周遊に繋がる二次整備が必要であると位置付けている。

## 図書館の今後の在り方について

回答

甲賀市公共施設等総合管理計画に基づき、令和10年度までに全図書館のあり方を検討する。



自由民主党誠翔会  
えびすわき ひろし  
**戎 勝**



## 甲賀市「公民連携元年」の位置づけを

質問

これからの大型の施設整備からソフト事業に至るまで、行政課題の解決に民間との連携は不可欠である。その手法を用いることで、税金の投入を削減し、また民間に利益をもたらすことが、持続可能な行政運営につながると考える。特に今年度は、貴生川駅周辺整備事業やスポーツの森の屋内遊戯施設整備事業などに対し、可能性調査費用やアドバイザーの招聘など、準備段階で多額の予算が計上されている。全市をあげて先入観なく、民間活力の導入に不退転の覚悟で臨まなければならない。今年度の取組にこそ、その成否がかかっていると云える。「甲賀市公民連携元年」と位置付けるような、本格的取組年度とすべきであると考えているが、どうか。

回答

税金を投入してまちを変えていくというやり方から、公共性を担保しながらも民間主導で経済合理的な自立、持続するやり方に変えることが目指す姿であり、市民サービスやエリア価値の向上につながる。全職員の意識改革を図り、公民連携手法導入の始まりの年として、公民連携元年として鋭意進める。



凜風会  
でぐち まさゆき  
**出口 雅之**



## 大災害に対する防災・減災と事前準備について

質問

①上部構造評点を0.7以上にするために、どのような取組をするか。②甲賀市での無電柱化への考えは。③災害関連死を少しでも減らすため、福祉施設BCPなどの作成は適正になされているのか。④トイレカーの導入や保有の考えは。⑤「迫りくる大震災の対策」のためにもまた「選ばれる町」になるためにも防災・減災の拡充、増進、導入など、他市町以上に対策費用の予算をかけるべきでは。

回答

①木造住宅無料耐震診断・補強案作成事業を行い、「木造住宅耐震改修等事業費補助金」を交付。②無電柱化は「通行空間の安全性確保」において有効。しかし多額の費用と地中埋設を行う高度な施工技術が必要である。③BCP作成の有無の確認や避難訓練の開催を促している。④協定を結び、災害時にはレンタル資機材として提供される。⑤一般会計予算の約4%を堅持し、各種防災・減災対策を進める。本市としても国や県、関係機関とも連携しながら災害対策を強化。国土強靱化の予算を地方自治体への支援をいただくことが肝要。



自由民主党誠翔会  
おくむら のりお  
**奥村 則夫**



## オーガニックビレッジ宣言について

質問

①甲賀市有機農業実施計画の現状は。②お茶に特価した宣言から水稲や青果物へ広げていく考えは。③学校給食への活用をして、販路の確保や農家の参入者を増やす方策をすべきでは。

回答

①令和9年目標を達成し、現在生産面積18.2%、生産者20人。②水稲は有機こだわり米「きらみずき」を拡大し、実施計画への記載を検討し、青果物では、県の栽培基準が確立された時点で、実施計画への記載を検討。③給食利用では、環境こだわり米に加え、滋賀県推奨「きらみずき」も一部提供し、青果物等についても小ロットでも優先的に買い取れる仕組みを検討。

## 消防団の支援団員について

質問

①再入団までの期間は。②支援団員の活動実績は。③各方面隊、分団とのつながり、団員との連携体制構築は。

回答

①退団から平均で2年から3年、最長で8年の方。②令和4年度は延べ17名、令和5年度は8名、令和6年度は13名ですべて火災発生時。③分団により差異はあるものの、分団内での訓練に基本団員とともに参加され、地域での交友などで連携体制は図れているものと考えている。



凜風会  
はしもと  
**橋本 律子**



## 地域移動支援活動の推進を 交通のネットワークの構築が肝要

質問

①交通空白地有償運送の実態と課題を伺う。②ドアツードアの移動をする条件や施策は。③市内の例で自治振興会での協議検討からサポート受けられている例と内容は。④地域移動支援の市の捉え方は。⑤住民理解・公共交通とのマッチング等今後の方向は

回答

①「甲賀流公共ライドシェア」が本年2月より土山エリアで実証運行開始。国に申請し許可を受けている。②タクシーを含まない、乗降に何らかの支援が必要な方、何らかの支援を求められる80歳以上の高齢の孤立・独居の方々へ。運送の対価を受けない条件で自治体等が主体となり買い物・通院支援実施されている例もある。承認を受けた対応している。③持続可能な地域で、移動支援補助制度を受けておられる。④単なる交通問題でなく、地域共生の実現への取組と認識。地域の声を丁寧に聞き、一緒に答えを見つけていく役割分担が大切と考える。⑤すべての移動を公共で担うのは困難。公共交通・民間・自助・共助の合理的なネットワーク化が肝要。制度の狭間に対応できる支援体制づくりへの道筋を見いだしていきたい。

訂正とお詫び  
82号17ページ 参加数→講座開催数 人→回



凜風会  
はしもと  
**橋本 恒典**



## 甲賀市の水道・公共交通・通学路について

質問

京都市や大阪市の水道事故から学ぶべき教訓は。通行量の多い道路で陥没が発生すると物流などにも大きな影響を与えることから、定期的な点検や計画的な改修を進める必要性を改めて認識した。

質問

市にとって望ましい公共交通ネットワークの姿についての市の考えは。

回答

貴生川駅を交通拠点としてJR草津線の運行本数を確保し、利便性を向上させるため近江鉄道や信楽高原鉄道、コミバス路線などの2次交通との接続、ライドシェアなどの新しい輸送サービスの導入などを進めるとともに、沿線地域や企業と連携した積極的な利用促進を実施していく。

質問

高校生の通学で寺庄駅のホームでの混雑や、水口駅から高校までの間、特に歩道のない幹線道路の徒歩通学の現状と対策について伺う。

回答

運行や駅構内を管理するJRと対策について協議しているが、混雑を解消する抜本的な改善には至っていない状況であり引き続きJR西日本と協議していく。また、徒歩通学の当該箇所については危険性を認識しており、安全対策としてグリーンベルトが設置されている。



凜風会  
たなか  
**田中 新人**



## 持続可能な農業への取り組みについて

質問

①集落営農組織の現状及び経営改善策は。②基本法の改正を見据えた今後の農業施策は。③米不足と米価上昇に関する本市の状況・見解は。④米不足の原因は。⑤米の高騰による農家所得は。⑥備蓄米放出の決断は。

回答

①役員の高齢化や担い手不足が進み、経営改善策は、スマート農業の導入や農地の集積、集約による効率化を進め、中心となる人材育成と専従者を置き、農業従事者の確保と地域内外の連携強化が必要。②農業で生計を立てられる担い手育成や農業規模の拡大などにより、生産性の向上でコスト低減を図り、農業の収益力を高め農業者の所得向上に取り組む。③米の需給が厳しく、一部の店舗の米不足で、購入できない事態が発生し、備蓄米の流通により、値下がりが確認。④気候変動による不作、自然災害の影響、インバウンド需要の高まりで、これらの要因が複合的に影響した。⑤米価格の高騰により農家の収入増加の見通しはあるが、肥料、農薬や資材等の生産コスト上昇で難しい。⑥米の価格が安定し、消費者も生産者も納得価格が最善。



凜風会  
たになが  
**谷永 兼二**



## PTA・学校教育後援会の現状と課題から 見る教育予算について

質問

①市内小中学校の加入状況は。②PTAの課題・問題に対する市教委の認識は。③市内小中学校の教育後援会の設置状況は。④本来公費で負担しなければならないもので教育後援会等に頼っていないか。教育予算の考え方は。

回答

①一番高い加入率は、小・中学校ともに100パーセント。一番低い加入率は、小学校では99パーセント、中学校では29.5パーセント。小中学校各1校はPTA組織が無い。②全国的にも保護者の負担感の増大や改善の余地がある組織運営などを背景に、保護者のPTA離れが進み、組織そのものが消滅しつつある状況が見受けられる。当市においても一部の小中学校では、PTA組織が存在しないケースもあることは認識している。③小学校は21校中17校が設置。中学校は、6校中、6校とも設置されている。④各学校からの予算ヒアリングを基に、予算編成を行い、必要な経費について予算計上をしている。今後も引き続き、教育後援会をはじめとする皆様の支援に感謝しつつも、本来公費で負担すべきものについては、教育行政の責任においてしっかりと確保し、効率的かつ効果的に執行し、児童生徒の教育環境の充実に努める。